

第10回 持続的生存圏創成のためのエネルギー循環シンポジウム
 —マイクロ波高度利用と先端分析化学—

第3回 先進素材開発解析システム(ADAM)シンポジウム
 —マイクロ波高度利用生存圏フラッグシップ共同研究—

平成25年11月18日(月) 13:00-17:30

京都大学 宇治キャンパス 生存圏研究所 木質ホール 3F

プログラム

開会の辞 13:00-13:10 : 渡辺 隆司 (京都大学 生存圏研究所)

【マイクロ波高度利用】 13:10-15:05

招待講演「有機反応や酵素反応に対するマイクロ波照射効果をどのように理解するか」

大内 将吉 (九州工業大学大学院 情報工学研究院)

招待講演「マイクロ波と高分子」

長畑 律子 (産業技術総合研究所 ナノシステム研究部門)

招待講演「マイクロ波化学反応装置一般」

曾我 博文 (四国計測工業株式会社 営業開発本部)

講演「環境調和型化を目的としたマイクロ波金属精錬 (Fe, Ti, Si)」

櫻村 京一郎 (京都大学 生存圏研究所)

【先端分析化学・生物機能】 15:20- 17:25

招待講演「乳頭分泌液を用いた乳癌バイオマーカー探索における二次元 LC/MS の活用とその効果」

黒野 定 (大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 疾患分子情報解析学 (和光純薬工業) 共同研究講座)

招待講演「植物細胞壁成分ペクチンの生合成酵素の解析」

石水 毅^a・上原 洋平^a・田村 峻佑^a・鶴浜 和奈^a・牧 祐介^a・今井 友也^b

(^a立命館大学 生命科学部・^b京都大学 生存圏研究所)

招待講演「エネルギー貯蔵デバイス用炭素材料の TEM による構造評価」

吉澤 徳子 (産業技術総合研究所 エネルギー技術研究部門)

講演「分子でみる木質バイオマス変換」

西村 裕志 (京都大学 生存圏研究所)

閉会の辞 17:25-17:30 : 篠原 真毅 (京都大学 生存圏研究所)

主催：京都大学 生存圏研究所

協賛：日本電磁波エネルギー応用学会